

(様式 1-3)

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 30 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	30	事業名	小名浜港背後地津波復興拠点整備事業	事業番号	D-15-2
交付団体		いわき市	事業実施主体 (直接/間接)	いわき市 (直接)	
総交付対象事業費		5,834,920 千円	全体事業費	5,669,209 千円	
事業概要					
<p>津波が発生した場合においても都市機能を維持するための拠点とするため、一団地の津波防災拠点市街地形成施設を都市計画法に基づく都市施設として位置づけ復興の拠点となる市街地を緊急に整備する。</p> <p>【整備予定箇所】 ○小名浜港背後地地区 A=約 10.9ha</p> <p>【復興ビジョン】</p> <p>○取組の柱 3 社会基盤の再生強化 主な取組み：被害の大きかった沿岸域等について、地域の意見を聴きながら、地域特性を活かした土地利用計画を策定します。</p> <p>○取組の柱 4 経済・産業の再生・創造 主な取組み：産業・観光振興の拠点として、さらには本市の復興のシンボルとして、アクアマリンパークをはじめとした周辺地域の一体的な整備・再生に向けて積極的に取り組みます。</p> <p>【復興事業計画 (第一次)】</p> <p>○取組の柱 3 社会基盤の再生・強化 (1) 生活基盤の再生 取組名：被災市街地復興土地区画整理事業 取組内容：広範かつ甚大な被災を受けた市街地の復興に対応するため、それぞれの地域の復興ニーズに的確に対応し、被災市街地復興土地区画整理事業等により緊急かつ健全な市街地の復興を推進する。</p> <p>○取組の柱 4 経済・産業の再生・創造 (4) 復興のシンボルとしての拠点整備 取組名：小名浜港周辺地域の復興 取組内容：本市ひいては日本の復興のシンボルとなる小名浜港周辺地域の復興に向け、小名浜港背後地をはじめ、小名浜港漁港区やアクアマリンパーク、さらには既成市街地までの周辺地域を一体として捉え、国・県や民間団体・地域住民と連携しながら、整備・再生を図る。 当該エリアのうち、その中心に位置する小名浜港背後地については、土地区画整理事業により福島臨海鉄道貨物ターミナルの移転を行い、臨港地区と既成市街地を(都)平磐城線で繋ぐとともに、その跡地(都市センターゾーン)に民間活力を導入する。</p> <p>○重点施策 5 小名浜港周辺地域の一体的な整備・再生プロジェクト</p> <p>【事業間流用による経費の変更】(平成 30 年 1 月 17 日) 残事業費を既配分予算の流用により充当することで、効率的な予算執行を図るため、D-6-1 東日本大震災特別家賃低減事業へ事業費 165,711 千円(国費：H27 特予算 124,283 千円)を流用。これにより、全体事業費は 5,834,920 千円(国費 4,376,190 千円)から 5,669,209 千円(国費 4,251,907 千円)に減額。</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 24 年度> 津波復興拠点整備計画策定、都市計画決定、事業認可、用地取得、移転補償、調査設計</p> <p><平成 25 年度> 用地取得、移転補償、津波避難施設設計</p> <p><平成 26 年度> 貨物ターミナル移転工事、国合同庁舎移転工事、津波避難施設工事</p> <p><平成 27 年度> 津波避難施設工事</p>					
東日本大震災の被害との関係					

<p>当該地区は、東日本大震災の大津波により、区域の大部分が浸水し、壊滅的な被害を受けた。 【国土交通省の直轄事業による調査結果：小名浜(市街地)地区】 全壊・大規模半壊：308棟 半壊・一部損壊：321棟</p>
<p>関連する災害復旧事業の概要</p>
<p>港湾施設の復旧（小名浜港） 等</p>

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	